

## 県立高等学校改革前期実施計画における再編整備に関する意見書

本県も少子化が進み教育環境の適正化を図るため、各地域で高校の統廃合が行われる。県立高等学校改革前期実施計画では、白河実業高等学校は農業科が修明高等学校へ集約され、埴工業高等学校との統合計画が示された。しかし、その再編整備案については大変疑義が残る内容である。

特に農業科の集約については、実施計画には到底理解することはできない。何故ならば農業科は例年女子生徒の入学希望者が多く志願者が定員枠を超える学科であり、卒業時には地元企業に就職する生徒も多く地域産業を担う職業人の育成に大いに貢献している。

また、農業科が修明高等学校へ集約されると白河市内（西郷村を含む）の生徒は農業を学ぶためには白河から棚倉まで通学しなければならない。修明高等学校への通学は公共交通機関を利用することになるが運賃が高額な上、便数が少なく通学はとても困難である。

については、西白河地区の生徒が農業を学ぶ教育機関を維持し、農業に従事する人材育成を図るためにも白河実業高等学校に農業科を存続させる必要がある。

以上の趣旨から次の項目の実現を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

### 請願事項

1. 県立高等学校改革前期実施計画を再考し、白河実業高等学校の農業科を存続させること

令和元年12月19日

福島県教育委員会 教育長 鈴木 淳一 様

白河市議会議長

菅原 修一